

第19回 ジャパンオープンハンドボルトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	E-7
種別・回戦	女子・準決勝	会場	岩出市立体育館

えいちしーわかやま HC和歌山		しーこるず シーコルズ		得点チェック欄		
35	19	前半	6	15	前半	<input checked="" type="checkbox"/>
	16	後半	9		後半	<input checked="" type="checkbox"/>
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input checked="" type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	服部 芳尚
<p>HC和歌山のスローオフで試合開始。 開始早々、和歌山10番長尾のロングシュートが決まり和歌山が先制。 和歌山は10番長尾、6番中村、9番村坂の得点により開始8分で8-1とリードを広げる。 流れが掴めないシーコルズは前半8分にタイムアウトを取り反撃を狙うも、和歌山12番GK坂田の好セーブ、2番東、4番吉田を中心とした粘り強いディフェンスにより点差を縮められず19-6の和歌山のリードで前半終了。 後半は、互いにゴールを奪い合うも、後半10分シーコルズ8番永田が退場となり25-11と和歌山にリードを広げられてしまう。 ここで一気に試合を決めたい和歌山は素早いパス回しや、速攻で攻め立てるもシーコルズ16番GK島袋の好セーブに合いリードを広げられない。 このまま一進一退の攻防が続くも、試合終了間際、速攻などで和歌山が一気に得点をあげスコアを35-15とする。 このリードを守った和歌山が決勝へ駒を進めた。</p>		

送信担当記録委員

坂中 茂 亮